

五常

編集発行
コミュニティ
協議会
広報委員会

人口
6,988人
世帯数
2,654世帯
平成20年4月現在

3月9日防災フェスティバル開催

五常校区第五回防災訓練が、防災フェスティバルとして、穏やかな陽気の3月9日(日)五常小学校グラウンドで開催されました。

近い将来必ず起きると予想されている大地震に備えての防災訓練です。今私たちが置かれている地震環境：

2050年までには必ず南海地震(枚方市震度6弱)が起きる。

その前か直後に生駒断層帯地震(震度6強)が起きるかも知れない。

防災フェスティバルは、避難誘導訓練から始まりまして。

「想定」8時30分大地震災害発生

五常校区で大被害発生情報あり、自主防災会長より緊急避難命令が発令され

住民は各々の一時避難場所に集合、自治会長・理事長は人員確認後、指定の

避難路を通り校区指定一次避難場所へ

避難訓練の様子



ある五常小学校へ避難誘導しました。自治会長・理事長はじめ住民の方々の

でありました。

開会式は、昨年同様のセレモニーとなりましたが、今年も枚方市消防署他関係機関からの多数の方々のご参加を紹介出来ました。

本防災訓練の目玉の一つは、枚方市消防団川越分団(11名)による放水訓練披露でありました。棒状放水(消火活動)と噴霧放水(延焼防止)での機敏な動作は、我々隣接の五常校区住民にその存在感と安心感を強くアピールするものでした。

防災訓練ゲームは、予定より20分早く10時丁度にスタートしました。

バケツリレー(初期消火訓練) 担架リレー(救助訓練)、防災グッズ探し

(我が家の防災訓練)への皆さんの参加意欲は昨年以上に強く、各100名の参加者を揃えるのに召集係無用と言

った状況でした。これをどのように見るか?嬉しい現象でした。

・女性消防団の模範演技は分かり易く

毛布で作った担架による救助訓練



ユーモアありの楽しい雰囲気でした。

・子どもたちの真剣な取組み 参加賞(防災グッズ)を貰っての喜び

・参加者(家族つれ、子供同士も)全員に輝く笑顔がありました。

・何よりゲーム中事故がなかったことがよかった。

給食・炊出し訓練(アルファ化米)は、定番化していますが、今回は自治会の女性の方々を中心に担当していた

いただきました。今年は、山菜おこわ(400食)でしたが、「美味しいね!」と言う声が続いて来ました。 枚方消防署警備課の富山課長は、防災訓練の講評の中で、「災害はいつ発生するか分かりません。大切なことは、地域住民のスピーディーな対応です」と強調されました。

最後に、この防災フェスティバル開催に当たり、ご協力ご支援戴いた多く



解散後の炊き出しなどの配布

の方々、並びに企画段階からご支援戴きました自治会長・理事長の皆様へ深く感謝致します。

後日、枚方消防署の某氏から「あれが理想的なやり方です!」と言う講評が伝わって来ました。さて、来年は?皆様からのお声を大切にしたいものを企画したいと思っています。今後とも会員の皆様の積極的なご支援をお願い致します。

五常校区自主防災会

事務局長 山口楠夫

自治部会の報告

平成19年度最後の自治部会が3月2日(日)に開催された。自治組織とコミュニティ協議会の連携強化、情報交換をはかるべく開催されているものであるが自治組織の代表者多数が出席された。当日の議事の概要は次の通りである。

野々村会長挨拶および報告

3月1日、枚方市制施行60周年記念式典が開催された。五常校区コミュニティ協議会は枚方市長表彰を受けた。

市では、コミュニティパンフレットを作成中であり、後日全世帯に配布される。青少年対策についても検討されている。

尚、当校区、C地区再開発についてはなかなか進まない。

議事

一、とんど祭り報告

盛大に開催できた。ご協力に感謝する。

祭りの手伝い人数が若干不足気味であったので、来年度からこの点手当たりのため、ご協力をお願いしたい。

尚、今年度はボイスカウトの協力を得てモンキーブリッジを作っていた。きたいへん好評であった。

次いで、とんど祭り決算報告も行われた。

二、民生委員等報告と要請

4月1日委嘱の3名の推薦も無事終了した。なお、20年度諸組織の新委員についても、付保の関係もあり、早急に報告頂くようお願いした。

三、まちづくり企画委員会報告

企画委員会でもとめた「まちづくり」については、市のデザイン事業に応募することになっている。その概要と共に

に報告があった。

四、C地区再開発について

C7の街区売却については、独立行政法人都市再生機構によると購入応募ゼロとのことである。現下の経済情勢では、なかなか売れないようだと報告があった。

五、コミュニティ活動費分担について

「まちづくり」との関連で、夏祭り等地域活性化のためのイベント行事実施につき、財政支援をお願いするとの要請が行われた。

六、自主防災会について

他校区の防災訓練の実施状況報告と共に、「防災フェスティバル」への協力要請があった。

七、その他

五常小学校校近辺の駐車場等について学校とも協議し、対応したい。また、以楽公園信号付近の排水不良箇所の改修についても対応していきたい旨の報告があった。

八、質疑等

コミュニティ活動費、災害時要援護者対策等に関し質疑があった。

エントツ山(煙突山)のエントツ

妙見山配水池入り口



おそらく五常校区内で最も高い地点は、香里ヶ丘八丁目の西端にほど近い妙見山頂上であろう。現在、ここは妙見山配水池として巨大な上水タンクが設置され、水道水を供給している。このタンクの横に高さ19.9メートル直径約2メートルもある煙突がそびえている。

この煙突は、第二次世界大戦中、付近一帯が火薬工場、すなわち旧陸軍香里製造所であった頃の遺物である。記

憶にある方も多いと思われるが、戦中、宇治火薬製造所から送られてきた湿った火薬を、香里製造所においてスチーム熱で乾燥させていたと言つ。その時に出る煙を今に残る煙突から排出させていた。戦時中は、敵軍の目をあざむくために、煙突に樹木などを絡めて偽装していたと聞いた。



平和を誓つた内容の石碑

敗戦後、香里製造所は閉鎖されたが、昭和27年に朝鮮戦争の特需ブームで、火薬製造会社が、旧香里製造所の枠下げによる火薬製造を復活しようとした。これに対して、枚方・寝屋川市の香

里地区住民、PTA・婦人会などの市民団体も呼応して火薬製造反対の市民運動を展開、枚方市議会でも「火薬製造反対決議」がなされた。これら一大反対運動によって、火薬製造工場建設は断念された。

その後、昭和31年、香里団地造成が始まり、香里団地に生まれ変わったが、煙突への熱い思いを持った市民は多く、昭和59年には、「煙突に寄せて平和を誓つ」との説明板が設置されこの経緯が記された。平成7年には被爆・戦後50周年を機にあらためて平和のモニュメントとして守り続けることが表明され今日に至っている。

戦争をくぐり抜けて来た煙突は、今、反戦平和の象徴として、校区内を見下ろしながら、春は桜、夏は緑、秋は紅葉などに囲まれてそのたたずまいを見せている。

上水道配水地であり、市の許可がないと立ち入ることはできず、煙突を眼近にすることはできないが、高所に位置していて、北の北摂連山、東の生駒の山なみ、五常校区はもろろ、枚方市内、大阪までも一望できて、眺望絶佳である。

グリーンタウン香里ヶ丘自治会 恒例の「お花見会」(於・淀見公園)

ひさかたの 光のどけき 春の日に グリーンタウンは お花見だい!



花見弁立配布の様子

グリーンタウン香里ヶ丘自治会では毎年恒例の「お花見会」を、四月第一日曜日開催してきました。

全国的な温暖化による早期開花情報をよそに、今年四月六日の淀見公園は期待通りの満開の桜に恵まれ、降り注ぐ陽光、時折頬をなでる優しい春風、まさに絶好の花見日和となりました。

新年度自治会役員の初仕事は、淀見公園の桜の樹木の下にビニールシートを敷き詰め、事前申し込みの花見弁当や飲物を準備して、配って、住民間の交流の場を設けることです。

昼時になると、陽気に誘われて家族連れや友達連れなどが、次々と公園に姿を見せ弁当を受け取っていきます。散策しながら花を愛でる人々、座って食事と歓談に花を咲かせる人々、みなその晴れ晴れとした顔、顔、顔

満開の桜の下でのお食事



輪番制で引き受ける自治会役員達も

チームワーク宜しく、和気藹々と交流行事での裏方務めの経験値を上げていきます。自分達も楽しみながら。

西公園愛護会主催のお花見

お花見の会の様子



香里ヶ丘西公園お花見の会がこの4月3日に西公園愛護会の主催で盛大に開催されました。当日は晴天にも恵まれ、満開のさくらの下で、池亀矩男さんの歌唱指導や伊藤民子さんによるお点前もあり、全員楽しい一時を過ごすこと

が出来ました。

「見守り隊」ご協力をお願い

皆様、「見守り隊」をご存じでしょうか？以前の紙面でも紹介させていたいただきましたが、五常校区コミュニティ協議会が最近の子供関連の事件・事故の増加に伴い、下校時だけでも子供たちの安全を確保しようと始めた見守り活動です。

平成18年7月の試行期間を経て、2学期から本格的に始動いたしました。通学路の中でも交差点など危険箇所を4地点ピックアップし2名ずつで下校時間帯に合わせて生徒たちの下校を見守っております。具体的には下校時間帯の午後3時から4時ごろまでの1時間程度立番をしていただくものです。当初は防犯協議会五常支部を中心に、交通対策協議会、青少年育成指導員の方々の協力を得ておりましたが、その後は自治会や小学校PTAも加わって活動を継続しております。ところが最近問題となっているのが、慢性的な人員不足であります。現場からの声として人員配置のやりくりは大

変身もし、欠員も発生しているということですが、こういった活動を続けていくことは子供たちの安全のみならず、地域の防犯にも役立つことだと思えます。皆様お忙しいとは思いますが、都合のつく時だけで構いませんので、協力をお願いいたします。

活動に協力していただける方はお近くのコミュニティ協議会役員もしくは自治会役員を通じてご連絡お願いいたします。

見守り隊の様子



皆様の協力で見守り活動を継続しましょう